



JAL不当解雇撤回ニュース

No300号 2013.07.15
 発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
 連絡先: 航空労組連絡会事務局
 〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
 フェニックスビル内
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekakai.co>

世界でダントツJALの財務体質

トップクラスです JALの営業利益率・額

JAL、ANA グループの2012年度決算。ANAは1038億円で2年連続して史上最高。JALは史上最高だった昨年に匹敵する史上2位の1,952億円の営業利益を確保。なんと、その額はANAの約2倍です。

ANAはJALを見て「突如と蘇ったライバル会社にはとても手が届かない」と言っています。

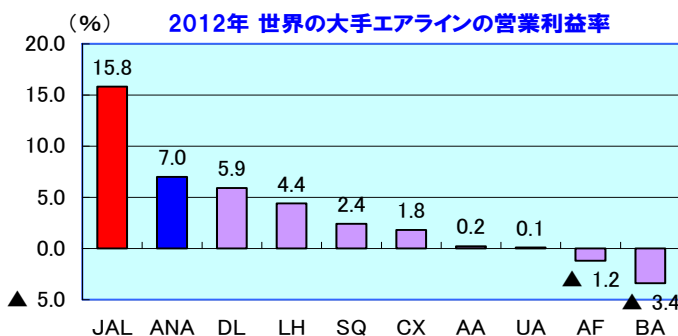
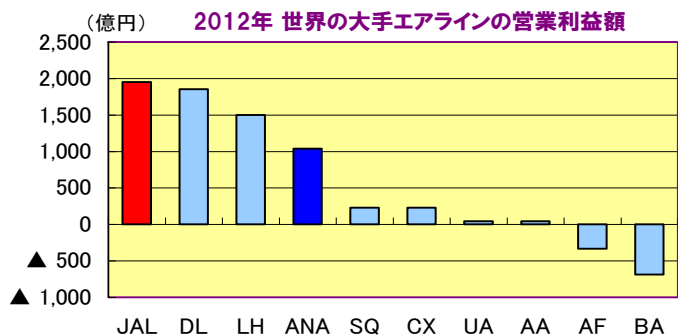
JALの業績は世界の航空会社の中でどのような位置にあるでしょうか？世界の大手エアラインと比較してみると、利益額も利益率も世界のトップでした。

経営指標はライバルを圧倒 JAL vs ANA

2012年度 主な経営指標(連結) 【金額:億円】

項目	JAL	ANA	JAL/ANA
連結営業収入	12,388	14,835	0.84
総資産	12,166	21,372	0.57
資本金	1,813	3,187	0.57
当期純利益	1,716	431	3.98
配当総額	323	140	2.31
有利子負債残高	1,601	8,971	0.18
自己資本比率	46.4%	35.9%	1.29
会計上内部留保*1	1,981	1,506	1.32
実質内部留保額*2	5,357	5,634	0.95
実質内部留保率*3	44.0%	26.4%	1.67
ユニットコスト *4	11.5円	14.0円	0.82

*1:会計上内部留保=利益剰余金
 *2:実質内部留保=利益剰余金+資本剰余金+退職給付引当金
 *3:実質内部留保率=実質内部留保÷総資産
 *4:ユニットコストは2社比較のためANA国内線は大圏距離換算実施



(営業利益/売上高) × 100 が営業利益率。JALの利益率の高さはダントツ。それだけ低コストであることを示している。

注: 表及び文中の英字 2 文字表示の航空会社名
 DL=デルタ航空 (アメリカ)
 LH=ルフトハンザドイツ航空
 SQ=シンガポール航空
 CX=キャセイパシフィック航空 (中国 ホンコン)
 AA=アメリカン航空 (アメリカ)
 UA=ユナイテッド航空 (アメリカ)
 AF=エールフランス
 BA=英国航空

営業利益以外の指標について、主なものを比較してみると、上記の表通り、ほぼ全てでANAに勝る状況です。中期計画に対する質疑の中で日航は、10%の営業利益率は「航空業界では高い水準」と述べ、自己資本比率50%は世界の航空会社の中でどのような位置になるかとの問いに「SQは50%以上、LH、QF、CX、ANAは30%台」と答えます。

不当解雇を撤回し職場に戻せ!

解雇された165名の年間の人件費は14億5千万円。職場復帰させ賃金を払ったとしても、それでも営業利益率世界でダントツは変わりません。

客室乗務員は1000名を超える新規採用、パイロットも養成訓練が始まります。客乗職もパイロットも人員不足。とりわけ新人が多数入った客乗では、ベテランが不足し新人の多数乗務が日常化しています。

労働者に犠牲を強い、安全とサービスをも切り下げて得た利益。こうした露骨な利益第一主義は許されません。

安全とサービスの品質を維持するために、不当解雇を撤回し、解雇したベテランを直ちに職場に戻すべきです。